

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500127
事業所名	グループホームエム・ケア名東

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	町内会に加入している。 近隣住民とは散歩時での声掛けや、挨拶などで、親しく交流している。 地域の住民や、老人会の方たちが栽培した作物の差し入れなどがあり交流している。 小学校の運動会などでは、席の用意を配慮して頂くなど配慮のある交流がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	行政、家族、入居者の参加がある。運営状況、行事など議題とし、多岐にわたるテーマについて、検討話し合いが行われている。 看取りなど、研修の報告、事例発表などしたり、家族、入居者との食事会など、体験を通じ、意見、議論、運営への提言を受けている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	指導課、介護保険課などと、更新時や、随時の相談、報告等、連携を取っている。 いきいき支援センターの認知症講習会へ、講師として参加するなど、日常的な交流がある。 市、いきいき支援センターの講習会へは、職員が交代で、参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	面会時での、意見、要望の把握をしている。 意見箱の設置をして、意見集約をしている。 家族の面会は、頻繁にあり、スケジュールなど調整し、施設長がなるべく面会をし、情報共有をしている。	○
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	—	—	×	×	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。